

## お薬手帳を切り口にしたポリファーマシーに関するアンケート概要

## 1 目的

- ・ 本県では、服薬情報の一元化を図り、お薬手帳の正しい活用を促進するため、75歳以上の重複服薬者に対して、お薬手帳ホルダー及びリーフレットを送付した。
- ・ 当該お薬手帳の活用促進事業の有効性を高めるとともに、ポリファーマシーに対する意識を高めるために、65歳以上の患者に対してアンケートを行う。

## 2 対象

- ・ 福岡県薬剤師会会員薬局に来局した患者（65歳以上）

## 3 方法

- ・ 調剤待ち時間、服薬指導時等に患者に回答してもらう。または薬剤師が患者にアンケート内容を聞き取る。アンケート結果を薬剤師等が google フォームに入力し、収集する。

## 4 質問と選択肢

- ・ 年齢は？
  1. 65～74
  2. 75～
- ・ 病院で発行された処方箋の薬が薬局での調剤によって減ったことがあるか。
  1. ある（どうして減るかの説明もあった）
  2. ある（どうして減るかの説明はなかった）
  3. ない
- ・ 病院で発行された処方箋の薬が薬局での調剤によって減るとどう思うか。（複数回答可）
  1. 飲む負担が減ってうれしい
  2. 安くなってうれしい
  3. どうして減るのか教えてほしい
  4. もったいないので薬を減らさないでほしい
  5. 減ると不安だから減らさないでほしい
- ・ お薬手帳はもっているか。
  1. 1冊のみもっている（紙媒体）
  2. 1冊のみもっている（電子版）
  3. 紙のお薬手帳を2冊以上持っている（ページがいっぱいになったものは含まない）
  4. 紙のお薬手帳と電子版のお薬手帳を持っている
  5. 持っていない

- 病院・薬局にお薬手帳を持って行くか。
  1. 病院・薬局ごとに1冊ずつ持って行く
  2. どの病院・薬局に行くときも同じ1冊を持って行く
  3. 決まった1冊はないが1冊は持って行く
  4. 持って行かないことが多い
  5. 持って行かない
  6. そもそも持っていない
  
- お薬手帳が役に立ったことがあるか。
  1. ある
  2. ない
  
- お薬手帳がどのように役に立ったか。(複数回答可)
  1. 自分で飲んでいる薬が把握できた
  2. 自分が飲んでいる薬について質問するようになった
  3. 医師や薬剤師に飲み合わせの悪い薬に気づいてもらえた
  4. 自分で同じ薬を飲んでいることに気が付けた
  5. 医師や薬剤師が、同じ薬を飲んでいることに気が付いた
  
- 昨年(平成30年)、福岡県や市町村からお薬手帳ホルダーが送られてきたか。
  1. 自分あてにのみ届いた
  2. 自分には届かなかったが家族には届いた
  3. 自分にも家族にも届いた
  4. 届いていない
  
- 病院や薬局でお薬手帳を1冊にまとめるよう言われたことがあるか。
  1. 病院で言われた
  2. 薬局で言われた
  3. 病院でも薬局でも言われた
  4. 言われたことはない